

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営の基本理念

公共性と企業性の調和のもと、絶対安全の確立、お客様本位の運営、安定的かつ効率的な運営により社会的責任を果たす

当期純利益
200億円以上

コスト削減
25億円

ROA（EBITDA）
12%以上

自己資本比率
40%台以上

2 中長期の経営戦略

1. 施設整備と脱炭素化

第2ターミナル北側サテライト本館接続施設を供用開始。2026年度完成予定の第1ターミナル北側サテライトではZEB Oriented認証取得を目指す

3. 商業収益力の強化

免税店の店舗リニューアルやRFID導入等で混雑対策を実施。HANEDAポイント等のOne to Oneマーケティングで旅客当たり単価向上に取り組む

2. 運営効率化の推進

ランプバス配車システムRBAS導入。ロボット等の技術活用やオペレーション見直しにより生産性向上を図り、高品質と利益向上の両立を目指す

4. 旅客に依存しない事業展開

EC事業の収益拡大やEV化サービス導入など、羽田のネットワークと運営ノウハウを活用した新事業の研究・開拓を推進

3 対処すべき課題

① 国際線旅客増加の限界対応

- 国際線旅客数の増加余地が限られる中で、ターミナル拡張費用と運営コスト増加を吸収しながら持続的利益成長を実現す…

② 外部環境変化への対応

- 2025年度の旅客数が計画策定時の想定を下回る見通し
- 物価上昇に伴う人件費・各種費用増加
- 中国経済の低迷、米国通商政策動向、為替変動の影響に注視が必要

③ コンプライアンス強化と組織改革

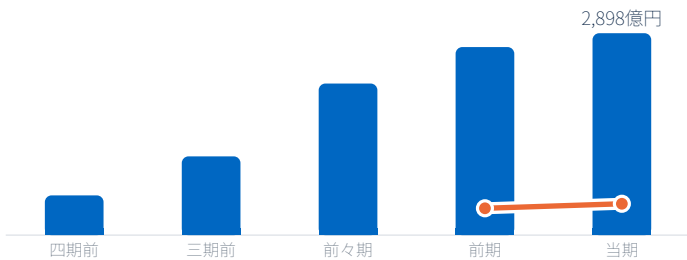
- 子会社の取引先事業者選定に関する不適切対応について2025年5月12日に厳重注意を受け…
- 経営体制刷新、取締役会過半数を社外取締役、法務・コンプライアンス室設置、独立した通報窓口設置等を実施

面接で使えるポイント

- 羽田空港で2030年訪日外客数6,000万人の政府目標達成に向け…
- 物価上昇対応として国内線施設利用料改定（2025年4月）、免税店売上好調、商業エリアリニューアル…
- ランプバス配車システムRBAS導入やロボット活用、HANEDAポイントのOne to Oneマーケティング…

証券コード 9706

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
2,898億円営業利益率
15.5%財務健康度
53点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 65.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
920万円

不動産業内 25位/130社

平均年齢
40.0歳

不動産業内 62位/131社

平均勤続
13.0年

不動産業内 16位/131社

女性管理職
34.1%

不動産業内 4位/76社

男性育休
-（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考:「ゴンチャ」が第2ターミナル3階にオープン！ | 日本空港ビ

